

宮陵会報 2011・12

Kyuu-Ryoo

No.93

発行責任者
 社団法人 宮 陵 会
 広報委員会

〒221-0802
 横浜市神奈川区六角橋3-27-1
 神奈川大学内
 TEL 045-481-5661
 (内線 2451~3)
 FAX 045-413-0791
 印刷所 株式会社 江森印刷所

交流の輪広がる！

17 回目の ホームカミングデー



清水和義さん(H 8 経卒)・由美子さん
 (H 5 短商卒) 神大卒のご夫婦です。
 「会報を楽しみにしています」



本学の創立者米田吉盛先生
 の甥にあたる
 栗田光郎さん(S39機卒)



15年ぶりに参加。
 「卒業後、37年ぶりに再会
 出来た友がいて、今日は
 幸せです。」(S51卒)



中島学長と一緒にパチリ



われら77歳。元気一杯。
 「みんな揃って“喜寿”
 の祝いです。」(S32卒)



初めての参加。「すごく
 賑やかで、楽しいです。」
 大友理奈さん(左)・佐藤
 容子さん(H13経済卒)

10月16日(日)横浜キャンパス体育館で「第17回神奈川大学ホームカミングデー」が開催されました。母校と卒業生の絆を深め師や友との語らいを通じ、ネットワークを一層広げていただくことを目的に毎年開かれています。式典では、理事長・学長・在校生代表の挨拶、そして宮陵会会長の乾杯の後は、お待ちかねの大交流会。会場はたくさんの笑顔に包まれました。

Contents No.93

全国支部長会議開催	2
学校法人神奈川大学新役員の紹介	3
準会員ニュース	4
大学ニュース 他	5
「三陸地域の復興に向けて」講演要旨	6
宮陵会役員被災地を訪ねる・本部だより	7
KU “東北” ボランティア駅伝 他	8

全国支部長会議を開催

宮陵会の一般社団法人移行をテーマに

平成23年度の全国支部長会議は、10月15日(土)に本学16号館で開催されました。海外を含めた地域、同期、同好の88支部が参加した今回の会議は、宮陵会の一般社団法人化への移行がメインテーマになりました。前段では、三陸地域振興に向けての講演があり(6頁参照)参加者にとって実りの多い会議になりました。

宮陵会が一般社団法人へ移行

10月15日の全国支部長会議で「一般社団法人移行後の支部の位置づけ」について、宮陵会本部から、その考え方の説明がありました。現行の特例民法法人から一般社団法人に移行するためには、定款変更を始めとする変更作業を伴います。ここでは、その概要と主な変更点を紹介いたします。

○名称について

一般社団法人神奈川大学宮陵会(案)とします。

○会員資格について



翌日の分科会でも「社団法人化に向けて」熱心な討議がかわされました

(1) 正会員

① 横浜専門学校を卒業した者② 神奈川大学、同大学院及び神奈川大学短期大学部を卒業した者③ 前記に在学した者で理事会で入会を承認された者

(2) 準会員

神奈川大学及び同大学院に在学する者

(3) 普通会員

① 正会員の資格を有するもので正会員となることを留保した者② 正会員の資格を有する者及び賛助会員で会費未納中の者③ 正会員の資格を有する者で住所変更の手続きをしないなど住所不明中の者④ 正会員で正会員をやめる届をした者⑤ 会員で除名された者

(4) 賛助会員

この法人の目的に賛同して入会の申し込みをし、理事会で入会を承認された者

(5) 特別会員

学識経験者などで、理事会で推薦を受けた者

○社員総会について

現在の代議員会、総会に変わり社員総会を年1回6月に開催します。臨時社員総会は、必要に応じて随時開催します。社員は、正会員から選挙された代議員とします。

○代議員制の採用について

一般社団法人では、社員総会が最高議決機関となります。宮陵会では「会費を納めた正会員の中から社員を選出するための選挙を行い、当該選挙により選出された者を任期付の社員とする」旨の定めを設けた、いわゆる代議員制を採用します。代議員の定数は、概ね

正会員400人に一人の割合とします。この定数の算出は、会費納入者が約5万2,000人いることから、妥当な代議員数を定めたものです。

○理事・監事について

① 理事・監事は、総会の決議によって、代議員の中から選出します。移行後の最初の選出は、移行後最初の社員総会となる平成25年6月の社員総会で行います。

○社員総会での決議事項について

従来からの代議員会、総会での決議事項であった事業計画、収支予算案は、理事会での決議

事項となります。社員総会では、事業報告の承認、収支決算報告の決議、その他定款並びに法令に定める事項を決議します。

一般社団法人移行後の支部の位置づけ

一般社団法人へ移行後、定款に支部を位置づけした場合、支部の事業、経理は本部と一体のものとして、事業報告、計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書等)は、支部も含めた法人全体のものを作成しなければなりません。しかし、支部の運営形態や経理はそれぞれ違うこともあり、支部を含めた定款

中国大連支部設立総会

副会長 小川 勲夫



上海支部に続き、中国では2番目となる大連支部の設立総会が、9月17日(土)大連市で開催された。大学から池上副学長、鈴木外国語学部長、馬特別招聘教授の三方と本会から小川が出席。前日、大連空港で大連支部の渡辺、古谷氏が迎えて下さり、宿舎の大連中山大飯店で旅装を解く。次に旧満州国時代の建物が残る中山広場と大連駅を案内下さった。国民学校1年の夏、終戦を大連で迎えた私には

60数年ぶりの訪問となる。当時と変わらぬ姿に感慨無量。ここ以外は大変貌し、アカシア並木は残って居るが、満鉄社宅のあった住宅街は面影がなく高層ビルが林立し、路上に車が溢れ、終日クラクションが鳴り響く街となっていた。

総会当日の朝、馬先生が近郊の東北財経大学の巨大な校内を車で案内され、専用ホテルまで備える規模と校内での新入生に対する軍事訓練に驚かされた。

次に日露戦争の戦跡、旅順に向かう道筋で見た巨大アニメキャラクターの建物はアニメ専科大学との事、新分野に対する中国の戦略に驚く。郊外も不動産ラッシュ。行政は大学も郊外へ移転中との事だが、教授達は子弟教育の為に旧市街から通勤し、宿舎には移らないという。急速な拡大政策にソフトが追いつかない様子がみられた。ホテルに戻ってもクラクションで騒々しいが、林立する高層ビルに灯りが見えない。電力事情が住人が居ないのかは不明だった。

総会は、周辺の大学の幹部級の教授5名が出席されて挨拶された。同窓会と言うより日中大学間交流の場となり、中国人卒業生、在大連駐在員と中国の大学幹部との名刺交換が行われた。日本人向けの情報誌記者も取材に来ており、支部長となられた武井克真氏(平18年中国語)の今後の支部活動に掛ける思いが伝わる会であった。今後の東アジアに於ける同窓会活動に大変参考となる旅となった。

にするのは、困難と思われます。従って、定款には、支部を位置づけることは行わず、独立した法人格(人格なき社団)を異にするものとしての位置づけを考えています。

①地域組織(支部)の名称は、名称の中に一般社団法人を名乗ることは出来なくなりまして、よって、名称は、宮陵会本部の許可を受けて次のようになりまして。例としては、神奈川県大学○○県宮陵会とすることが、良いのではないかと考えています。移行後は、行政単位で都道府県、市、区は必ず入れる名称に統一していきます。

②支部の事業につきまして、本会の目的を達成するため、「地域組織活動助成金取扱規則」を定め、支部への助成金は従来どおり交付します。

③全国地域組織代表者会議(現支部長会議)は、毎年社員総会(現総会)当日もしくは翌日に開催します。

④総会の構成が、代議員に変わるため、会員を対象にした集いを、今後、会員の意見を参考に検討します。

主な質問と答弁

質問 代議員数が130名に想定されているようですが、説明によれば、現在の全国の支部長は、そのまま代議員に移行ができません。代議員選出について、もう一度確認したい。

答弁 今後は、支部別で代議員を選出する方法ではないが、例えば、○○地域で三人が、支部長に当たる人を推薦することにより、代議員に選出されることは可能だが、現支部長が、そのまま自動的に代議員になれません。

質問 普通会員は、相当な人数だが、除名者や住所不明者は投票する権利はあるのか。

答弁 卒業生は全員に会員の資格はありません。すべてが投票に参加すると約20万人になりますが、会費納入者並びに住所判明者(正会員)約5万人に限定して、社員を決めるための選挙を行います。

**学校法人 神奈川大学
理事長就任(再任)にあたって**

理事長 伊藤 文保



狩野会長をはじめ宮陵会役員の皆様、そして卒業生の皆様には、日頃から母校のために、多大なご支援、ご協力をいただき、感謝申し上げます。

だいており、衷心より感謝申し上げます。私、平成23年9月23日の理事会におきまして、再び理事長の重任をお引き受けすることになりました。これからの任期三年間も多事多端のことと思われませんが、卒業生の皆様方のご支援をいただきながら、神奈川大学の発展のために、理事長として職責をまっとうしてまいります。よろしくお願ひ申し上げます。

なお、このたび理事のおひとりに、宮陵会の宇野峰雪副会長が選任されております。今後、学長をはじめ理事の方々と共に、活気に満ちた納得性のある法人運営を心掛けてまいります。

さて、想定(?)をはるかに越えた東日本大震災は、地震、津波、原発事故という多重災害となり、まさに国難といえる大きな被害をもたらしました。本学は83年の歴史を経て、卒業生が20万人近くにもなり全国各地で活躍されておりますが、ご本人ご家族を含め、これらの大災害に巻き込まれた方も少なくないと考えられます。多大な被害に遭われ、また、ご家族ともどもつらい想いをされている方も多かろうと存じます。改めまして、心よりお見舞いを申し上げます。

幸い本学では学生本人は新入生を含め全員の無事が確認され、現在学園生活を送っておりますが、ご家族の被災、生活維持者の失職、家屋の損壊等によって、経済的に困難な学生は、申請手続中の学生を含め最終的には500名

くらいになると思われます。これらの学生に對しましては、規程によるものの他、特例措置を講ずることとし、罹災状況に應じ、全学生に、学費全額免除、あるいは減額免除を行つたところでありまして。加えて、学生個々の経済事情に應じた家賃援助、新入生に對しましては、下宿・住居の斡旋と家賃援助の他、当面のスタートアップのための経済支援等を行っております。

また、本学では、東日本大震災の被災地支援活動として、継続的な取組みで支援の糧をつなげるべく、「KU」東北「ボランティア」伝」と銘打ち、支援基地としての条件が整う岩手県遠野市に、学生および教職員によるボランティア支援チームを順次派遣、さらに被災古文書類の保全にも一役買うなど、神奈川大学ならではの積極的な取り組みを実行しております。

なお、この度の大規模多重災害は、これから法人として取り組むべきハード、ソフト両面の「備え」について、改めて系統的に再構築しておくべきことを思い知らされました。将来構想実行計画の見直しの際の大きなテーマとして「大災害に負けない、めげない学園づくり」について検討してまいりたいと思っております。

卒業生の皆様方におかれましては、引き続き、母校神大のために、温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

**学校法人 神奈川大学
新理事長・理事・監事の紹介**

学校法人神奈川大学評議員会は9月23日に新評議員会を開催し、職務上の理事である学長、事務局長を除く新理事、監事を選任しました。また、評議員会に続いて、同日開催された新理事会で伊藤文保氏が理事長に、正野幸延、松本正勝の両氏が常務理事にそれぞれ選任されました。

- | | |
|---------|-------|
| 理事長 | 伊藤 文保 |
| 学長・理事 | 藤島 千幸 |
| 常務理事 | 松本 正勝 |
| 事務局長・理事 | 正野 幸延 |
| 理事 | 伊藤 文保 |
| 常任監事 | 伊藤 文保 |
| 監事 | 伊藤 文保 |



佐々木 翔選手

本学サッカー部所属の佐々木翔選手(人間科学4年)が、来季よりJリーグのヴァンフォーレ甲府へ、三原向平選手(人間科学4年)が湘南ベルマーレに入団することがそれぞれ内定しました。

佐々木選手は1年次から、三原選手は2年次からそれぞれレギュラーとして起用され、チームの中心選手として神大サッカー部を支えてきました。佐々木選手は、ヘディングでの競り合いと球際の強さ、更には両足から繰り出される正確なキックが持ち味の選手です。また、三原選手は身体能力が高く、抜群のスピードでサイドを駆け上がり上下動を繰り返して攻守に渡り貢献できる選手です。

FOTTBALL

**佐々木翔選手
三原向平選手
Jリーグの舞台へ!!**

祝

準会員ニュース

Profile

■佐々木 翔 (Sho Sasaki)
ポジション：DF・MF
出身/生年月日：神奈川県/1989年10月2日
身長/体重：175cm/67kg
経歴：横浜F.マリノスプライマリー-横浜F.マリノスジュニアユース-神奈川県立城山高校-神奈川大学

■三原 向平 (Kohei Mihara)
ポジション：DF・MF
出身/生年月日：香川県/1989年12月8日
身長/体重：167cm/63kg
経歴：丸亀FC-丸亀東中学校-尽誠学園高校-神奈川大学



三原 向平選手

入団内定を受け、両選手は今まで自分たちを支えてくれた方々への感謝の想いを忘れずに、Jリーグの舞台で活躍することを約束してくれました。

今後の2人のJリーグでの活躍に期待しましょう!

トライアスロン部

観音寺大会競技後、香川支部の皆様さんと記念写真

私たちは現在16名で活動を行っています。トライアスロンはスイム、バイク、ランの3競技の合計を競うとてもハードな競技ですが、16名全員が大学入学後に初心者から始め、挑戦する心を持ちながら活動しています。

月1回の大会の出場を目安に、これからも日々練習に励んでいきます。

●戦績

- ・2011年日本学生トライアスロン選手権観音寺大会

男子の部	4年(法律)	石塚 祥吾	第3位(1'52"32)
	3年(人間科学)	早乙女 瞭	第73位(2'12"08)
	3年(経済)	佐藤 厚仁	第96位(2'17"12)
	3年(物質生命)	古屋 佳	DNF
	2年(国際経営)	中場 隆文	第109位(2'23"24)
- ・アジアトライアスロン選手権

U23男子	4年(法律)	石塚 祥吾	第3位(2'04"36)
-------	--------	-------	--------------
- ・第17回日本トライアスロン選手権東京港大会2011

NTTトライアスロンジャパンカップ	ランキングイベント最終戦	4年(法律)	石塚 祥吾	第9位(1'54"08)
-------------------	--------------	--------	-------	--------------

横浜キャンパスでは、10月29日(土)・30日(日)の両日に第13回神大フェスタが開催されました。両日共に天候にも恵まれ、約23,000人が横浜キャンパスを訪れました。

毎年設置されている宮陵会ブースにも、多くの卒業生が訪れ、学園祭を楽しみおと共々学生時代の思い出を懐かしむ様子があがりました。

特に今年の宮陵会ブースでは、福島県産の米や野菜の販売が行われました。この試みは、東日本大震災の被害を受けた福島県の県知事・佐藤雄平氏が本学OB(昭45・経済卒)であることから、福島県産の農作物を積極的に消費し、福島県の復興を応援していこうという想いから実施されました。

第13回 神大フェスタ開催

宮陵会ブース

『食べて応援しよう!』

福島!!



出品したほとんどの野菜が売り切れるほどの大盛況で、微力ながら、復興に向けての支援が出来たように思えました。今後も、我々宮陵会に出来ることは小さな事かもしれませんが、被災地の支援に向けて積極的に協力をしたいと思えました。

第88回 東京箱根間

往復大学駅伝競走 予選会応援記

平成23年10月15日(土)、第88回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)本戦出場権をかけた予選会の日である。

陸上自衛隊立川駐屯地をスタートに、市街地を回り、国営昭和記念公園内をゴールとする20kmのコースで争われる。各校10〜12名の選手が走り、上位10人の合計タイムで6校が選出され、残る3校は5月に行われた関東イソカシの成績をポイント化し、換算したタイ

ムと合算した成績で選出される。神大のインカレポイントは僅かに30秒、できることなら上位6校に入りたいところである。当日は前夜からの雨が降り続き、時折雨脚が強くなる生憎の天気であった。雨の予選会は20年ぶりのこと。

朝7時に昭和記念公園の西立川口に降り立つと、既にいくつかの大学が職の準備をしていた。我々神大も場所を確保しているところに、大学職員及び体育会本部の学生が職を持って参集し、応援に来られる方々を迎える態勢を整える。

スタート1時間前の8時30分、応援指導部の応援が始まる。校歌、応援歌と、雨の中の必死のイールに心が打たれる。雨で出足こそ鈍かったものの、気がつけば二重、三重の人ばかりである。本学からは中島学長を筆頭に、

役員、教職員、学生らが来場し、宮陵会からも役員、体育振興委員会、多数の会員の方々に駆けつけて頂いた。

9時30分。いよいよ運命の時。号砲とともに参加40校466人が一斉にスタート。直後から外国人選手を中心に先頭集団ができ、神大は集団で2番手のグループにつける。スタート地点と5km地点での応援が終わり、17km地点への移動中、テレビの生中継を観ながら応援している地方支部の方から速報が入る。10km地点のタイム順で12位とのこと。不安と緊張が走るが、後半勝負と信じて応援地点に向かう。この頃、雨は上がったものの足元はぬかるみ、移動するのも大変であった。

17km地点では硬式野球部や神大フェスタの学生達が既に待機しており、合流して選手を待ち構える。先頭は山梨学院大と日本大の選手が並走、通過後の早い段階で神大の2選手が現れ、大きな声援を送る。その後も大きく離されることなく、残りの選手も順次通過していき、その度に「神大、頑張れ!」、「ラストだぞ!」の声が上がる。全選手の通過を見届け、成績発表が行われるみんなの原っぱへ移動すると、途中で再び速報が入り、10人目がゴールした順番は2番目であったとのこと。あくまで目安ではあるが、上位通過へ期待が高まる。

みんなの原っぱでは陸上部を中心に、応援に来られた方々が輪になり、一団となって発表を待つ。上位で10人が走り切ったことで、昨年のような緊張感はない。そして、いよいよ発表が始まり、周囲が静まりかえる。1位上武大、2位山梨学院大と進み、その度に各所で歓声が上がる。そして我が神奈川大にも歓喜の瞬間が訪れた。

「第5位 神奈川大学 10時間14分3秒」
歓声とともに笑顔がはじける。誰彼構わず握手をしたり、ハイタッチをしたりして喜びが溢れる。成績発表が終わわり、陸上部から応援



力走する坪内 武史主将 (撮影: 神奈川大学)

に來られた方々に対して感謝の意が述べられた。中野部長、大後監督、坪内主将が順次マイクを握り、その言葉には出場権を獲得したことへの安堵感と達成感が滲み出ている。そして、本戦でのシード権獲得に向けた決意が述べられ、大きな拍手が送られた。その後、応援指導部主導のもと、校歌を全員で歌い散会となった。

散会後のコーチ陣の話では、チームトップの選手から10番目の選手までのタイム差が1分ちよつとで、全員がしっかりと走り切れたのが大きいとのことであった。また、2人の1年生が上位で走れたという大きな収穫もあり、本戦に向けて手応えを得た様子であった。本戦でのシード権獲得に向けて、残りの2ヶ月半でしっかりと調整して本番を迎えたいと、心強い言葉も頂いた。しかし、今回の予選会でも本戦優勝校や伝統校と言われる大学が出場権を逃す等、現在の大学駅伝は予断を許さない状況である。本戦でも厳しい戦いが待ち構えていると思うが、今の成長曲線を絶やさないことなくチーム力を上げ、良い結果を掴み取ってほしい。来年もお正月に母校を応援できることに感謝し、僅かでも選手の背中を押せるような応援を実施するべく、我々も頑張っていきたいと思う。

【宮陵会体育振興委員会委員
平出 功(平13・化博前)】

祝

吹奏楽部 金賞に輝く 第59回全日本吹奏楽コンクール

10月29日、青森市文化会館で開催された第59回全日本吹奏楽コンクール(大学の部)で東関東支部代表で出場した神奈川大学は、金賞の栄誉に輝きました。

過去、23回金賞という強豪校ならではのプレッシャーをはねのけ見事な演奏を披露し、聴衆から大きな拍手を受けました。なお、来年のコンクールは、全日本吹奏楽連盟の規約で、出場はお休みになります。

お知らせ

神奈川大学吹奏楽部 第47回定期演奏会

日 時/2012年1月8日(日)

会 場/横浜みなとみらい大ホール

詳しくは、神奈川大学吹奏楽部公式WEBサイトへどうぞ!

http://www3.to/kusb/



(写真提供: エコーフィルム)

「三陸地域の復興に向けて」

神奈川大学工学部 重村 力教授が講演



10月15日、全国支部長会議で「三陸地域の復興と漁村再生復興の論点」をテーマに、本学工学部教授 重村力氏の講演がありました。教授は、超高層ビルなどの設計ではなく、学校や文化施設など、地域のコミュニティ施設を主体に設計している建築設計者。阪神・淡路の大震災を体験し、その支援活動を行い、地域の復興に関わってきました。

(紙面の都合で要旨のみを掲載します。)

東日本大震災は、建物の被害だけでなく、津波、火災、液状化、地盤沈下、原発、放射能汚染という災害をもたらしました。今日は主に三陸沿岸について話を進めます。

三陸と言うと寂しい寒村がいくつかあるようなイメージですが、実際は世界三大漁場の一つと言われています。暖流と寒流が出会う豊かな漁場で、また、資源管理型の養殖業の発達した地域であります。日本中から船が集まって来て、遠洋漁業で採った魚が石巻や宮古、気仙沼に入ってくるという活気のある港町です。震災・津波で被災された三陸地域の復興を考えると、何百という集落があり、さらに水産業の基地となる大きい都市が存在していることです。小集落と市街地が立体的に構成された空間をよく理解し、その復元力に依拠した地域の再生を図る必要があります。

■ コミュニティに依拠した復興

復興にあたり考えることは、地域社会は、そのままの状況で、持続できる限り持続することです。16年前に被災した神戸市は、震災

以降、例えばダンロップの拠点であった住友ゴム本社が撤退しました。その結果、長田区のケミカルシユーズ業界は傾きました。長田地区は、以前は安い値段で食べられ、そこに働く人たちは、住まいは安く、給料も安い、中小企業は栄えるという共存できる街でした。しかし、震災以降は、高層ビルが立ち並び、12m道路が何本もできるようになると、従来の景色と異なり、閑古鳥が鳴くという事態になってしまいます。地域をまったく変えないということは、難しいことですが、元々あった地域の景観を連続させていくことは、非常に重要なことです。

■ 迅速に復興したジャワ島

06年のジャワ島(ジョクジャカルタ)の地震では、「コミュニティに依拠した復興」が叫ばれ、仮設住宅や復興住宅を現地につくり、地産産業の再建に直ちに着手しました。社会と経済の持続性と復元力を重視した政策を行った結果、迅速に復興を果たすことができました。地域社会を壊さず、その復元力を助長する政策が、ここ数十年の方向性、考え方に変わってきています。また、自然災害への対策においても工作物のみで、防災に対応するのではなく、環境共生的な工夫を重ねて減災に対応していくという考えが進展してきています。

■ 高所移転の経過と必要性

明治以降集落の高所居住を維持し続けた集落は少ないですが、大船渡市の吉浜地区は、これらを徹底したことで、津波から村を守ってきています。吉浜地区は、1896年以降に高所移転し、さらに1933年以降、約20mの海岸段丘上への移転を行いました。164世帯、長さ1kmを超す大きな集落の移転距離は、

最長で500m、標高も20mほどで、被災を防ぐ高所移転の必然性が見事に伝承されてきた地域です。

一方、山田町船越の田ノ浜地区は、「昭和津波」の後の1934年に500世帯が浜から300m奥の15mの高地に移転しました。その後、1964年以降には、低地にも住居が建てられるようになり、その結果、低地は被災されました。これは、防潮堤などの設置で、低地の安全を過信させたことによるものと推察されます。

■ 伝承と津波教育の大切さ

宮古の姉吉に「高き住居は児孫に和楽 想へ惨禍の大津波 此処より下に家を建てるな」と刻まれた有名な碑があります。津波で人的被害を減らす方策として大切なことは、日頃の津波に対する教育です。今回も津波警報が出ていましたが、いつもの警報と同じで、聞いたことではないだろう、と思っていた人たちが、沢山犠牲になりました。一方、逃げた助かった人たちは、明治29年や昭和8年の津波のことを散々聞かされ、また、学校での演劇などにも取り入れられ、その怖さを身に付けていたことで、助かったようです。このよ

うなことから、伝承と津波教育の大切さを十分に感じるどころです。

■ 今後の高所居住の方向性

津波を防潮堤等で完璧に制圧し、沿岸低地の安全性を確保するのは不可能に近いと思います。津波に対しては、まず適切な土地利用で対応すべく、低地や川沿いに居住地をつくらないことを原則とすべきです。しかし、低地や沿岸に建築施設を何もつくらない、ということも非現実的であり、避難経路(高所へ逃げられる道路の確保)をつくっておき、必要な生産施設、流通施設、公共施設は、津波で流されない、浮き上がらない構造を持つ構造物や津波避難ビルを兼ねた数階建ての堅牢な構造物をつくるなどの減災対策が重要になってきます。居住する人たちの場所は、高所に配置することで、住み分けをします。被災した際の支援態勢としては、被災エリアを支援するための拠点づくりが重要です。例えば、高地に、体育施設などの公共施設を設け、ともかく災害時には物流の拠点となる広い場所を確保しておくことが、その後の救援活動に大いに役立つと考えています。

今年度定年退職になられる先生方

- 中田 信哉 教授 経済学部
- 柳田 仁 教授 経営学部国際経営学科
- E. カーマイケル 准教授 外国語学部英語英文学科
- 後藤 政子 教授 外国語学部スペイン語学科
- 岡島 千幸 教授 外国語学部国際文化交流学科
- 水野 光晴 教授 外国語学部国際文化交流学科
- 和氣 洋美 教授 人間科学部人間科学科
- 野口健一郎 教授 理学部情報科学科
- 石渡 秋二 助教 工学部機械工学科
- 大野 吉弘 教授 工学部電子情報フロンティア学科
- 西久保忠臣 教授 工学部物質生命化学科
- 大成 逸夫 教授 工学部 (物理)

(学部学科順に現在の予定者を掲載)

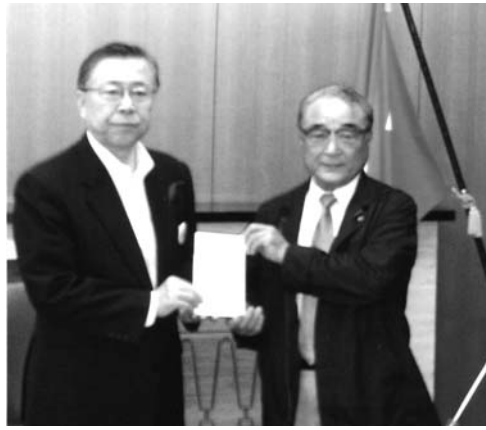
以上の先生方が、今年度定年をお迎えになります。広報委員会では、ぜひ恩師の最終講義を聴講したいという皆様のため情報を収集しています。1月中旬以降に各学部とも予定が決まってまいりますので、宮陵会事務局にお問い合わせください。

司法試験の結果について

平成23年新司法試験の合格発表が9月8日に行われ、平成17年度以降の本研究科修了者61名が試験に臨み、短答式合格者38名のうち4名が合格されました。

東日本大震災の復旧・復興に 奮闘する首長を訪ねて

副会長 平能孝一



狩野会長から佐藤福島県知事へ見舞金を贈呈

会長と共に去る9月20日から22日にかけて、岩手県遠野市の本田敏秋市長、宮城県石巻市の亀山紘市長、福島県の佐藤雄平知事、福島県棚倉町の藤田幸治町長を訪ねて本会からお見舞い金を贈呈した。20日の午後、新花巻駅で岩手県支部の宮澤俊次支部長と合流し遠野市へ向かった。罹災して全壊したため市内の元百貨店に仮住まいしている市庁舎を訪ね遠野市長にお見舞い金を贈呈した。地元TVのカメラも入るなか「寄付採納式」が終わり、市長から母校を始め同窓会からも頂戴したことの御礼があった。その後、本学学生ボランティアの引率で滞在中の後藤先生と学生たちを交えて、市長、副市長も参加された交流会で大いに意見交換をさせていただいた。災害対策を恒常的に大規模に訓練されてきた本田市長の姿勢が、今回の大震災で極めてスピーディに対応できたとの評価が各紙に取り上げられたことは卒業生としても誇りに思うところである。

21日の石巻市長訪問は、折りしも台風15号の進路と重なり、雨傘の骨が折れるほどの悪天候のなか、仙台駅で浅野博之支部長と合流して石巻市へ向かった。石巻市役所は駅前の元百貨店が廃業した建物に移転して執務が行われている。雨模様の中、市長室を訪ねたが会議が延長しているため、直接お会いしてお見舞い金を贈呈することが叶わなかった。市内沿岸部は住居の面影はなく荒廃した跡地が見渡せる惨状であった。市内の交差点は信号機が故障したままで、復旧ままだらぬなか、他県から派遣された警察官の手信号に頼っている状態である。仙台市への帰路、仮設住宅の広場脇には流失した廃材の集積場所があり

ゴミの山となっている現況や、石巻市内にある石巻専修大学の体育館が臨時的に県合同庁舎として使用されている現状などを視察した。復興までには相当の期間と費用を要すると思われた。

22日は、時折降る雨のなか、福島県庁へ佐藤雄平知事を訪ねた。公務多忙にも関わらず我々のために時間を割いていただいた。原発問題などの対応で奮闘されている様子はテレビなどで拝見しているが、同窓生として頑張っておられる知事へ、会長から労いと激励の意をお伝えし、知事からは卒業生の皆様に感謝の言葉をいただいた。風評被害を払拭するためにも、福島へゼミ合宿や運動部の合宿や卒業生の旅行にもご来県いただきたいとのこと

本部だより

■会議予定等

- 平成24年
- 2月3日(金) 理事会
- 2月25日(土) 平成23年度第2回代議員会
- 5月26日(土) 平成24年度第1回代議員会、通常総会 (予定)

■新支部紹介

岐阜支部再建総会
10年以上に活動休止していましたが、9月11日に再建総会が35名の参加を得て開催されました。
大連支部設立
中国の大連でご活躍の会員(会員数14名)の方々と、9月17日に12名の参加を得て支部設立総会が開催されました。なお、総会には大連の大学関係者5名の先生方のご出席を頂いております。(関連記事2頁)

■新支部長紹介

- 南区支部 38 経 勝 巖
- 南足柄支部 28 経 神部 秀
- 藤沢支部 33 電 秋田 琢次
- 因幡支部 46 法 松島 徹

であった。

県庁舎を後にして、午後に棚倉町を訪ね、庁舎で藤田町長とお会いした。松茸の名産地とのことであるが、原発の放射能問題でこの影響による風評被害が懸念されており、今年には厳しい状況とのことであった。地震による直接被害は少なかったとのことであるが、この影響が何年続くのか不透明である。このようななか、お見舞い金をいただき感謝いたします、との謝意をいただき、棚倉の町舎を後にした。

この大震災の復旧・復興に日夜取り組む行政の激務の中、それぞれの被災地で懸命に努められている各首長に、卒業生一同から大いに激励のエールを贈りたい。

- 大連支部 平18中語 武井 克真
- 三洋みやも会 51法 板頭 福之
- 函館支部 45 質 宮崎 高志

■計報

- 謹んでお悔やみ申し上げます
- 荒垣 恭二殿(19 質) 平成23年6月13日 参与・元副会長・元理事
- 鶴飼 茂夫殿(31 質) 平成23年9月21日 岐阜支部長
- 大田 哲哉殿(38 電) 平成23年11月7日 前広島県支部長・広島電鉄(株) 代表取締役会長

■最近の新聞記事より

李 相日(リ・サンイル) (平8 経卒)
第60回神奈川文化賞 受賞 文化賞未来賞芸術部門 映画監督として活躍 (23・10・19 神奈川新聞)

支部だより

◆今後の支部総会開催予定

- 平成24年1月3日(火) 香川支部総会
- 平成24年1月8日(日) 茅ヶ崎・寒川支部総会
- 平成24年2月4日(土) 岩手支部総会

2011日本学生トライアスロン選手権 観音寺大会開催 香川支部が熱い応援

8月28日香川県観音寺市で「2011日本学生トライアスロン選手権観音寺大会」が開催されました。神奈川大学の石塚祥吾選手他4人が出場するというここと、香川支部(支部長三谷洋勝)の有志13人が駆けつけて、幟旗、応援タオル等で応援しました。炎天下の中、各選手ともがんばり、石塚選手は3位入賞、他の選手も持てる力を発揮しました。応援者一同、青春時代を思い出し、声をからしての応援でした。(関連記事4頁)

参加者がついに1,000名を越えました！ 被災地支援「KU」東北「ボランティア駅伝」

新聞・テレビ・ラジオなどで様々に紹介されていることなので、ご存知の方も多くいらっしやると思いますが、神大では被災地支援の「KU」東北「ボランティア駅伝」というユニークな取り組みを行っています。簡単に紹介します。

4月末から始めたこの「駅伝」は、もちろん「走る駅伝」ではありません。駅伝のようにタスキをつなぎ、息の長い被災地でのボランティア活動を行うおうというものです。すでに70チーム以上、途切れることなくタスキをつなぎ、その数はのべ1,000人を越えています。この数は関東の大学では飛び抜けているはずで。

毎回10〜20名、週2便、大学が借り切った夜行バスで、現地ベースキャンブ、岩手県の遠野市(本田市市長は本学法学部出身です)に向かいます。丸々2日間のボランティアは、被災した釜石・陸前高田・大槌などの小・中学校に全国からの献本で集まった本を仕分け



神奈川大学 特別表彰

『なでしこジャパン』
矢野喬子選手(H19経営卒)が受賞される

第6回FIFAサッカー女子ワールドカップドイツ大会で優勝した「なでしこジャパン」DFで本学出身の矢野喬子さん(浦和レッズレディース所属)が11月8日、神奈川大学から特別表彰を受け、記念の楯などが贈呈されました。大学1年から日本代表となり、その後もW杯などでの活躍が評価されました。来年のロンドン五輪の活躍が期待されます。

祝

して送る作業や、海水に浸かった議会や村の貴重な資料を洗浄する作業、そしてもちろん瓦礫除去や仮設住宅での支援など様々です。教職員も必ず同行します。学生は一枚、二皮むけて横浜に、平塚に帰ってきます。直接被災地の空気を吸い、それぞれに大きなへなにかを得て帰ってきていること、帰ってきた学生と話をすると私自身いつも感じます。

この「KU」東北「ボランティア駅伝」、12月半ばまでは今のペース、週2便で続けま



クライミングウォールが完成

本学横浜キャンパスにこのほど、セブンサムツ登頂を記念した「クライミングウォール」が完成しました。巨大な壁の大きさは、高さ12m、幅5m。山岳部とOB学士山岳会は2009年10年越しで、世界7大陸の最高峰の登頂に成功し、この偉業を記念して、建設が進められてきました。壁の表面パネルは、軽くて丈夫な強化プラスチックが使われています。

山岳部は、本学創立100周年に向けた挑戦がスタートしており、この壁で一層練習に打ち込める環境が整いました。

神奈川大学の前身校、横浜学院・横浜専門学校の創立から80余年が経ちました。

神奈川大学資料編纂室では、図書館展示ホールにて特別展を開催しています。草創期の横浜専門学校に焦点を当て、学校の設立から学生活動の状況、そして横浜専門学校の特徴であった魅力的な教員陣まで様々な資料により振り返ります。

本学の礎を再確認いただければ幸いです。

特別展

『草創期の横浜専門学校』
開催中

す。1月以降は少し便数を減らして、とりあえず3月まで続けます。すでに神大OB・OG、父兄の皆さんも何人も参加されています。ご興味のある方は横浜キャンパス「被災地支援室」までご連絡下さい。

そうそう、正月の走る方の駅伝もオール神大で戦いましょう。

【石積 勝・副学長】
「KU」東北「ボランティア駅伝統括」



展示会場・日程は以下の通りです。

◇会場：神奈川大学図書館展示ホール (横浜キャンパス)

◇日程：2011年10月3日(月)〜2012年1月31日(火)

図書館開館時間に閲覧できます。

開館時間・休館日等は神奈川大学図書館ホームページでカレンダーをご確認ください。

※なお、1月中は学年末試験のため図書館の一般利用はできませんがご観覧の際には受付で「特別展の観覧」とお申し出ください。